

三瓶小豆原埋没林

4,000年前の自然が育んだ大森林。

幾本もの巨木が、太古の姿のまま地底にそびえ立ちます。さんべ縄文の森ミュージアムでは、地底の森を発掘状態で公開しています。

埋没林Data

埋没年代
約4,000年前(暦年代)
発見立木数
30本
最大径木
2.5m(スギ・胸高)
最長木
12.5m(スギ)
最大年輪数
636本(スギ)



三瓶小豆原埋没林 空撮



発掘調査風景 1999年

1998年に島根県が発掘調査を実施し、立木群が埋もれていることを確認しました。

写真中央の立木は掘り出されて三瓶自然館に展示されています。



三瓶自然館の展示室

発掘した3本の立木を展示しています。
(三瓶小豆原埋没林から車で約7分)

発見・発掘 1983年

《水田工事で出現した立木》

水田の工事中に出現した巨木が発見のきっかけになりました。当初は特に注目されなかったものの、数年後に写真を目にした松井整司氏が調査を行い、地下に森林が埋もれていることを指摘しました。